

令和 7 年 12 月議会

総務財政委員会報告資料

目 次

1. 区庁舎の老朽化調査等について	… 1 頁
2. 内野公民館・老人いきいの家複合施設改築工事請負契約の締結について	… 2 頁
3. 中央市民センター大規模改修舞台照明・音響設備工事請負契約の締結について	… 8 頁
4. 中央市民センター大規模改修その他空調設備工事請負契約の締結について	… 12 頁
5. 中央市民センター大規模改修その他電気工事請負契約の締結について	… 16 頁
6. 西体育館改修工事請負契約の締結について	… 22 頁
7. 福岡市地域防災計画の修正について(案)	… 28 頁
【補足資料】 福岡県地震に関する防災アセスメント調査概要	
8. 福岡市男女共同参画基本計画(第5次)の策定について	… 29 頁
【別冊資料】 福岡市男女共同参画基本計画(第5次)(案)	

市 民 局

1. 区庁舎の老朽化調査等について

1 区庁舎の現状

各区役所の庁舎は「アセットマネジメント基本方針」に基づき、目標耐用年数を70年としている。

区役所のうち最も経過年数が長い庁舎は、東区、南区、早良区役所（以下、三区庁舎）であり、いずれも独立行政法人都市再生機構（現：UR、当時：日本住宅公団）の市街地住宅併用方式（住宅との合築）を採用し、昭和46年に建設され、築54年を迎えている。

○区庁舎の建設年・築年数（2025年－建築年）

東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
S46 建設 築54年	R4 建設 築3年	S55 建設 築45年	S46 建設 築54年	S62 建設 築38年	S46 建設 築54年	S59 建設 築41年



東区役所



南区役所



早良区役所

2 三区庁舎の老朽化調査

（1）調査内容

- 三区庁舎の施設状況を把握するため、令和5年度、6年度に老朽化調査を実施。
- 建築（躯体・仕上げ等）、電気・機械・給排水設備ごとに、材料採取による試験や調査を実施。
- 躯体の健全性は特に重要であるため、コンクリートの劣化状態や鉄筋の腐食状態を調査。

（2）調査結果

- 三区庁舎のいずれも、建物全体の安全性に影響する老朽化は認められない。
- 躯体は、コンクリートの経年劣化が一部確認されるものの、適正に維持管理を行うことで、目標耐用年数70年まで使用可能。
- 内・外部の設備等についても、計画的な更新や部分補修により、施設の機能維持が可能。

3 今後の取組み

（1）既存庁舎の取り扱い

- アセットマネジメント基本方針や老朽化調査の結果を踏まえ、三区の既存庁舎については適切に維持管理を行いながら、築70年を目途に使用することを前提とする。

（2）将来的な更新期に向けた検討着手

- 今後、三区庁舎の将来的な更新期に向けた検討に着手する。
- 庁舎の更新においては、UR住宅や関連施設など、関係者と協議を行うとともに上位計画や周辺まちづくり、財政負担の軽減などにも考慮しながら、市民サービスの向上に向けた総合的な検討を進める。

2. 内野公民館・老人いこいの家複合施設改築工事請負契約の締結について

1 契約概要

工事件名	内野公民館・老人いこいの家複合施設改築工事		
工事概要	○内野公民館・老人いこいの家複合施設の改築工事 構 造:木造 階 数:平屋建て 建築面積:685.05㎡ 延 面 積 :660.81㎡	摘要(別途工事)	
		・造成工事 ・空調設備工事 ・衛生設備工事 ・電気設備工事 ・ガス工事委託	
工事場所	福岡市早良区内野五丁目245-1, 237-3		
工事期間	令和7年10月28日から令和8年10月27日まで		
入札方法	総合評価落札方式による制限付一般競争入札		
開札年月日	令和7年10月17日		
契約年月日	令和7年10月27日		
落札者	株式会社 岩堀工務店		
契約価額	327,360,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 29,760,000円)		
予定価格	344,432,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 31,312,000円)		
失格基準価格	313,709,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 28,519,000円)		

【参考】入札参加者一覧

区分	名称	備考
地場	株式会社 岩堀工務店	
	株式会社 飯田工務店	
	アスミオ, 株式会社	辞退

2 入札結果

(1)技術評価点の内訳

評価項目			配点
提案項目	技術提案	項目1 現場周辺における第三者への安全対策について [工事特性] 本工事は、歩行者や一般車両の交通量が多い道路に面した場所で行う工事である。	10
		項目2 現場作業時における労働災害防止対策について [工事特性] 本工事は、多くの外部足場上の作業や建方工事等の重機作業を伴う工事である。	10
	小計 a		20.0
企業評価項目	企業 施工の 能力	工事成績の実績	4
		工事成績優良業者の表彰実績	1
		同種工事の施工実績	1
		建設業労働災害防止協会加入状況	1
	技術 者の 能力	資格の保有状況	1
		同種工事の施工経験	1
	社会 地域貢 献・	社会貢献・政策貢献	2
		災害対策協力企業	2
		本店所在地	1
	社会・ 信企 業性 の	競争入札参加停止措置状況	(-2) ※
小計 b			14.0
加算点 a+b			34.0
標準点 c			100
技術評価点A (a+b+c)			134.0

※配点欄の企業の信頼性・社会性(-2)は、企業評価項目の小計に含まない。

(2)入札価格

入札価格 B (単位:円) (消費税及び地方消費税相当額を除く価格)

(3)評価値

評価値 $A/B \times \alpha$ (α は数値調整のための係数) (予定価格1億円以上10億円未満の場合、 $\alpha = 100,000,000$)
--

落札者				(単位:点)			
名称	株式会社 岩堀工務店			名称	株式会社 飯田工務店		
区分	提案数	点数		区分	提案数	点数	
A(2.0)	3	9.0		A(2.0)	0	3.0	
B(1.5)	2			B(1.5)	1		
C(1.0)	0			C(1.0)	1		
D(0.5)	0			D(0.5)	1		
E(加算点なし)	0			E(加算点なし)	2		
A(2.0)	2	8.0		A(2.0)	0	3.0	
B(1.5)	2			B(1.5)	2		
C(1.0)	1			C(1.0)	0		
D(0.5)	0			D(0.5)	0		
E(加算点なし)	0			E(加算点なし)	3		
17.0				6.0			
3.133				2.666			
1.000				加算点なし			
1.000				1.000			
1.000				加算点なし			
1.000				加算点なし			
1.000				加算点なし			
2.000				2.000			
2.000				1.500			
1.000				1.000			
減点なし				減点なし			
13.133				8.166			
30.133				14.166			
100				100			
130.133				114.166			

297,600,000	285,190,000
-------------	-------------

43.7274	40.0315
---------	---------

3 落札者の技術提案の概要

項目 1	現場周辺における第三者への安全対策について
	本工事は、資機材の搬出入を含む現場の入退場を、歩行者や一般車両の交通量が多い南西側道路から行う計画であり、また、現場周辺は地域住民や児童等が通行するため、第三者への安全対策が重要となり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。
項目 2	現場作業時における労働災害防止対策について
	本工事は、外部足場上の作業や建方工事等の重機作業が多いため、労働者の墜落防止や資材の落下防止、重機との接触事故防止などの労働災害防止対策が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。

(参考)評価項目の内容

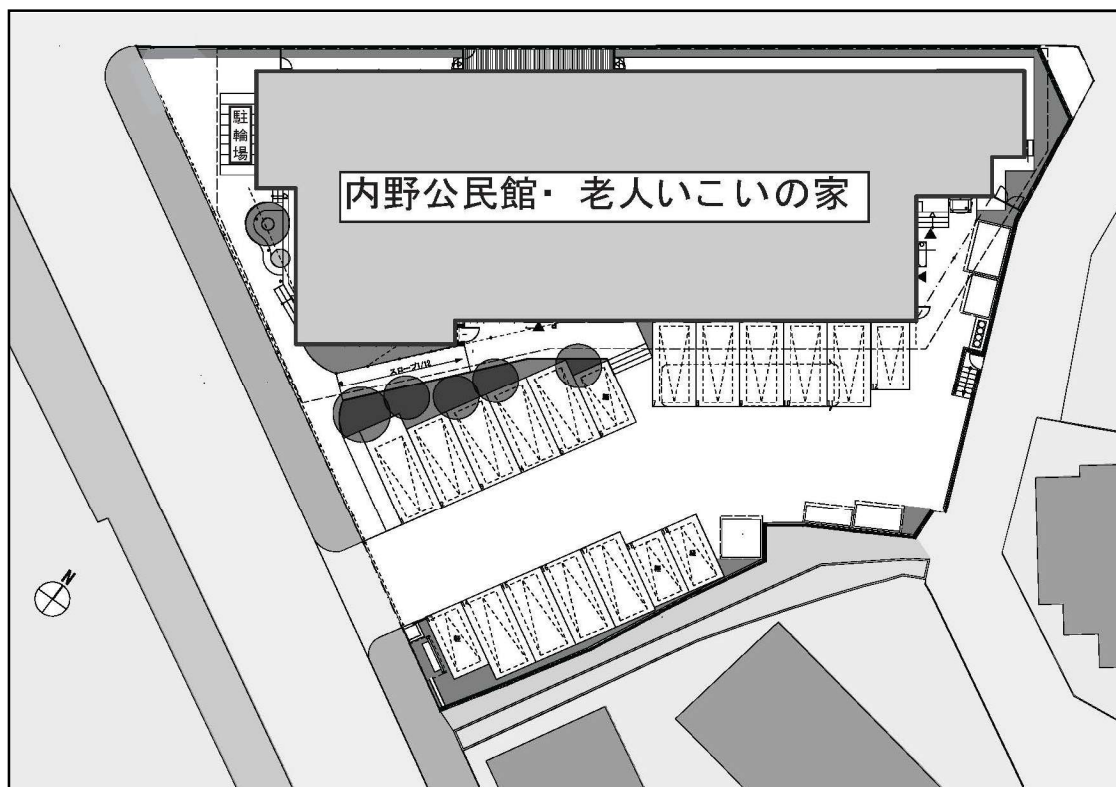
企業評価項目

評価項目		評価内容
企業 の 施 工 能 力	工事成績の実績	平成27年4月1日から令和7年8月20日までの間に、本市(水道局、交通局含む)又は福岡市施設整備公社(以下、「本市等」という)が評定通知した建築工事の任意3件の平均点によって評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	工事成績優良業者の表彰実績	令和5年8月21日から令和7年8月20日までの間に、本市等が建築工事において、工事成績優良業者として表彰を行う旨通知した工事の実績により評価する。ただし、表彰日の翌日から入札公告日前日までの間に競争入札参加停止の措置を受けた期間がある場合は、評価の対象としない。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	同種工事の施工実績	平成27年4月1日から令和7年8月20日までの間に竣工した木造の新築、増築または、改築工事の施工実績により評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	建設業労働災害防止協会加入状況	令和7年4月1日から令和7年8月20日までの間に建設業労働災害防止協会へ加入している者を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
技 術 者 の 能 力	資格の保有状況	入札公告日時点で、入札者が提示する配置予定技術者の監理技術者資格者証の保有期間により評価する。
	同種工事の施工経験	入札者が提示する配置予定技術者に平成27年4月1日から令和7年8月20日までの間に竣工した木造の新築、増築または、改築工事の施工経験(監理技術者、主任技術者、現場代理人での従事に限る)があれば優位に評価する。
社 会 地 域 貢 献 ・ 社 会 貢 献	社会貢献・政策貢献	入札公告日時点で、福岡市から「障がい者雇用促進事業」、「環境配慮型事業所支援事業」、「次世代育成・男女共同参画支援事業」、「協力雇用主支援事業」、「消防団協力事業所支援事業」、「ふくおか「働き方改革」推進企業認定事業」、「Well-being及びSDGs推進事業」、「地域活動貢献企業認定事業」の該当要件で認定を受けている企業を評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	災害対策協力企業	令和7年4月1日時点における福岡市と防災活動に関する協定を締結した団体に所属し、当該業種の特性を活かした防災活動を行う企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	本店所在地	入札公告日時点で、本市に本店が所在し、本市競争入札有資格者名簿に地場企業として記載された期間(地場としての継続期間)が長い企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
信 企 社 業 性 の 貢 献	競争入札参加停止措置状況	競争入札参加停止等の措置を受けた者で、入札公告日時点で、競争入札参加停止期間満了日の翌日を起算日とする競争入札参加停止期間と同期間が係る場合に、評価点を減点する。 (JV案件:構成員の中に対象者が含まれる場合は、一律2点(E評価)の減点とする)

○位置図



○施設配置図



3. 中央市民センター大規模改修舞台照明・音響設備工事請負契約の締結について

1 契約概要

工事件名	中央市民センター大規模改修舞台照明・音響設備工事	
工事概要	<p>○既存棟の大規模改修工事に伴う舞台照明・音響設備工事を行うもの</p> <p>主な工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台照明設備の更新 ・舞台音響設備の更新 	摘要(別途工事)
		<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事 ・電気設備工事 ・電気設備撤去工事 ・監視カメラ設置工事 ・空調設備工事 ・衛生設備工事 ・自動制御設備工事 ・エレベーター設置工事 ・中央体育館受変電設備工事 ・ガス工事委託 ・屋上防水改修工事 ・植栽工事
工事場所	福岡市中央区赤坂二丁目5番8号	
工事期間	令和7年9月13日から令和9年3月15日まで	
入札方法	総合評価落札方式による制限付一般競争入札	
開札年月日	令和7年9月4日	
契約年月日	令和7年9月12日	
落札者	健和電気株式会社	
契約価額	389,400,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 35,400,000円)	
予定価格	390,214,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 35,474,000円)	
失格基準価格	355,407,800円 (うち消費税及び地方消費税相当額 32,309,800円)	

【参考】入札参加者一覧

区分	名称	備考
地場	健和電気株式会社	
	株式会社 秀電社	
	株式会社 サン電工社	辞退

2 入札結果

(1)技術評価点の内訳

評価項目			配点
提案項目	技術提案	項目1 機器の搬入・据付作業における品質管理について [工事特性] 本工事は、重量物である調光盤等の搬入作業や多数の照明・音響機器の据付作業を伴う工事である	10
		項目2 本工事に従事する労働者の安全対策について [工事特性] 本工事は、調光盤等の重量物や多数の照明・音響機器の搬出入作業や、高所での機器取付作業等を伴う工事である	10
	小計 a		20.0
企業評価項目	施工能力	工事成績の実績	4
		工事成績優良業者の表彰実績	1
		同種工事の施工実績	1
		品質管理への取り組み	1
	技術者の能力	資格の保有状況	1
		同種工事の施工経験	1
	社会貢献・地域貢献・本店所在地	社会貢献・政策貢献	2
		災害対策協力企業	2
		本店所在地	1
	社会・信頼性の企業性	競争入札参加停止措置状況	(-2) ※
小計 b			14.0
加算点 a+b			34.0
標準点 c			100
技術評価点A (a+b+c)			134.0

※配点欄の企業の信頼性・社会性(-2)は、企業評価項目の小計に含まない。

(2)入札価格

入札価格 B (単位:円) (消費税及び地方消費税相当額を除く価格)

(3)評価値

評価値 $A/B \times \alpha$ (α は数値調整のための係数)

(予定価格1億円以上10億円未満の場合、 $\alpha=100,000,000$)

落札者			(単位:点)		
名称	健和電気株式会社		名称	株式会社 秀電社	
区分	提案数	点数	区分	提案数	点数
A(2.0)	0	3.0	A(2.0)	0	2.0
B(1.5)	1		B(1.5)	1	
C(1.0)	1		C(1.0)	0	
D(0.5)	1		D(0.5)	1	
E(加算点なし)	2		E(加算点なし)	3	
A(2.0)	0	5.5	A(2.0)	1	7.0
B(1.5)	3		B(1.5)	2	
C(1.0)	1		C(1.0)	2	
D(0.5)	0		D(0.5)	0	
E(加算点なし)	1		E(加算点なし)	0	
8.500			9.000		
3.022			3.000		
1.000			1.000		
1.000			1.000		
1.000			1.000		
1.000			1.000		
1.000			1.000		
2.000			0.500		
加算点なし			加算点なし		
1.000			1.000		
減点なし			減点なし		
11.022			9.500		
19.522			18.500		
100			100		
119.522			118.500		

354,000,000	352,000,000
-------------	-------------

33.7632	33.6647
---------	---------

3 落札者の技術提案の概要

項目 1	機器の搬入・据付作業における品質管理について
	本工事は、調光盤等の重量物を調光室まで搬入することや多数の照明・音響機器の据付を行うため、機器の損傷防止や確実な据付の実施が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。
項目 2	本工事に従事する労働者の安全対策について
	本工事は、調光盤等の重量物や多数の照明・音響機器の搬出入作業や、高所での機器取付作業等があるため、機器との接触・挟まれ防止や高所作業時における墜落・転落防止など労働者の安全対策が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。

(参考)評価項目の内容

企業評価項目

評価項目		評価内容
企業 の 施 工 能 力	工事成績の実績	平成27年4月1日から令和7年7月9日までの間に、本市(水道局、交通局含む)又は福岡市施設整備公社(以下、「本市等」という)が評定通知した電気工事の任意3件の平均点によって評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	工事成績優良業者の表彰実績	令和5年7月10日から令和7年7月9日までの間に、本市等が電気工事において、工事成績優良業者として表彰を行う旨通知した工事の実績により評価する。ただし、表彰日の翌日から入札公告日前日までの間に競争入札参加停止の措置を受けた期間がある場合は、評価の対象としない。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	同種工事の施工実績	平成27年4月1日から令和7年7月9日までの間に竣工した建築附帯(住宅除く)電気工事の新築工事又は改修工事の施工実績により評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	品質管理への取り組み	入札公告日時点で、ISO9001の取得があれば優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
技 術 者 の 能 力	資格の保有状況	入札公告日時点で、入札者が提示する配置予定技術者の監理技術者資格者証の保有期間により評価する。
	同種工事の施工経験	入札者が提示する配置予定技術者に平成27年4月1日から令和7年7月9日までの間に竣工した建築附帯(住宅除く)電気工事の新築工事又は改修工事の施工経験(監理技術者、主任技術者、現場代理人での従事に限る)があれば優位に評価する。
社 会 地 域 貢 献 ・	社会貢献・政策貢献	入札公告日時点で、福岡市から「障がい者雇用促進事業」、「環境配慮型事業所支援事業」、「次世代育成・男女共同参画支援事業」、「協力雇用主支援事業」、「消防団協力事業所支援事業」、「ふくおか「働き方改革」推進企業認定事業」、「Well-being及びSDGs推進事業」、「地域活動貢献企業認定事業」の該当要件で認定を受けている企業を評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	災害対策協力企業	令和7年4月1日時点における福岡市と防災活動に関する協定を締結した団体に所属し、当該業種の特性を活かした防災活動を行う企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	本店所在地	入札公告日時点で、本市に本店が所在し、本市競争入札有資格者名簿に地場企業として記載された期間(地場としての継続期間)が長い企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
信 企 社 業 性 の 性	競争入札参加停止措置状況	競争入札参加停止等の措置を受けた者で、入札公告日時点で、競争入札参加停止期間満了日の翌日を起算日とする競争入札参加停止期間と同期間に係る場合に、評価点を減点する。 (JV案件:構成員の中に対象者が含まれる場合は、一律2点(E評価)の減点とする)

4. 中央市民センター大規模改修その他空調設備工事請負契約の締結について

1 契約概要

工事件名	中央市民センター大規模改修その他空調設備工事		
工事概要	○既存棟の大規模改修工事及び増築工事に伴う空気調和設備、換気設備、排煙設備工事を行うもの 主な工事内容 ・空気調和設備の更新 ・換気設備の更新 ・排煙設備の更新	摘要(別途工事)	
		・建築工事 ・電気設備工事 ・電気設備撤去工事 ・舞台照明・音響設備工事 ・監視カメラ設置工事 ・衛生設備工事 ・自動制御設備工事 ・エレベーター設置工事 ・中央体育館受変電設備工事 ・ガス工事委託 ・屋上防水改修工事 ・植栽工事	
工事場所	福岡市中央区赤坂二丁目5番8号		
工事期間	令和7年9月13日から令和9年3月15日まで		
入札方法	総合評価落札方式による制限付一般競争入札		
開札年月日	令和7年9月4日		
契約年月日	令和7年9月12日		
落札者	大橋エアシステム株式会社		
契約価額	383,900,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 34,900,000円)		
予定価格	384,043,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 34,913,000円)		
失格基準価格	349,786,800円 (うち消費税及び地方消費税相当額 31,798,800円)		

【参考】入札参加者一覧

区分	名称	備考
地場	大橋エアシステム株式会社	

2 入札結果

(1)技術評価点の内訳

評価項目			配点
提案項目	技術提案	項目1 搬入・据付作業における更新機材の品質管理について [工事特性] 本工事は、空調機器の搬入作業や冷媒配管・冷温水配管等の更新作業を伴う工事である	10
		項目2 本工事に従事する労働者の安全対策について [工事特性] 本工事は、高所足場上での配管作業や屋上に設置された空調機器等の重量物の撤去・搬入作業を伴う工事である	10
	小計 a		20.0
企業評価項目	企業の施工能力	工事成績の実績	4
		工事成績優良業者の表彰実績	1
		同種工事の施工実績	1
		品質管理への取り組み	1
	技術者の能力	資格の保有状況	1
		同種工事の施工経験	1
	社会貢献・地域貢献・本店所在地	社会貢献・政策貢献	2
		災害対策協力企業	2
		本店所在地	1
	社会・信頼性の企業性	競争入札参加停止措置状況	(-2)※
小計 b			14.0
加算点 a+b			34.0
標準点 c			100
技術評価点A (a+b+c)			134.0

※配点欄の企業の信頼性・社会性(-2)は、企業評価項目の小計に含まない。

(2)入札価格

入札価格 B (単位:円) (消費税及び地方消費税相当額を除く価格)

(3)評価値

評価値 $A/B \times \alpha$ (α は数値調整のための係数)

(予定価格1億円以上10億円未満の場合、 $\alpha=100,000,000$)

(単位:点)

落札者		
名称	大橋エアシステム株式会社	
区分	提案数	点数
A(2.0)	0	5.0
B(1.5)	2	
C(1.0)	2	
D(0.5)	0	
E(加算点なし)	1	
A(2.0)	1	7.0
B(1.5)	2	
C(1.0)	2	
D(0.5)	0	
E(加算点なし)	0	
12.000		
3.200		
1.000		
1.000		
1.000		
1.000		
1.000		
2.000		
2.000		
1.000		
減点なし		
13.200		
25.200		
100		
125.200		

349,000,000

35.8739

3 落札者の技術提案の概要

項目 1	搬入・据付作業における更新機材の品質管理について
	本工事は、空調機器の搬入作業や冷媒配管・冷温水配管等の更新作業があるため、機器等の搬入作業時の損傷防止や各種配管の接合部分における漏れ防止などの品質管理が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。
項目 2	本工事に従事する労働者の安全対策について
	本工事は、高所での足場上配管作業や屋上に設置している空調機器のクレーン等を用いた撤去・搬入作業があるため、高所からの転落防止や機器の落下防止、重量物との接触防止などの労働者の安全確保が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。

(参考)評価項目の内容

企業評価項目

評価項目		評価内容
企業 の 施 工 能 力	工事成績の実績	平成27年4月1日から令和7年7月9日までの間に、本市(水道局、交通局含む)又は福岡市施設整備公社(以下、「本市等」という)が評定通知した管工事の任意3件の平均点によって評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	工事成績優良業者の表彰実績	令和5年7月10日から令和7年7月9日までの間に、本市等が管工事において、工事成績優良業者として表彰を行う旨通知した工事の実績により評価する。ただし、表彰日の翌日から入札公告日前日までの間に競争入札参加停止の措置を受けた期間がある場合は、評価の対象としない。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	同種工事の施工実績	平成27年4月1日から令和7年7月9日までの間に竣工した建築附帯(住宅除く)空調設備の新設工事又は更新工事の施工実績により評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	品質管理への取り組み	入札公告日時点で、ISO9001の取得があれば優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
技 術 者 の 能 力	資格の保有状況	入札公告日時点で、入札者が提示する配置予定技術者の監理技術者資格者証の保有期間により評価する。
	同種工事の施工経験	入札者が提示する配置予定技術者に平成27年4月1日から令和7年7月9日までの間に竣工した建築附帯(住宅除く)空調設備の新設工事又は更新工事の施工経験(監理技術者、主任技術者、現場代理人での従事に限る)があれば優位に評価する。
社 会 地 域 貢 献 ・	社会貢献・政策貢献	入札公告日時点で、福岡市から「障がい者雇用促進事業」、「環境配慮型事業所支援事業」、「次世代育成・男女共同参画支援事業」、「協力雇用主支援事業」、「消防団協力事業所支援事業」、「ふくおか「働き方改革」推進企業認定事業」、「Well-being及びSDGs推進事業」、「地域活動貢献企業認定事業」の該当要件で認定を受けている企業を評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	災害対策協力企業	令和7年4月1日時点における福岡市と防災活動に関する協定を締結した団体に所属し、当該業種の特性を活かした防災活動を行う企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	本店所在地	入札公告日時点で、本市に本店が所在し、本市競争入札有資格者名簿に地場企業として記載された期間(地場としての継続期間)が長い企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
信 企 社 頼 業 会 性 の 性	競争入札参加停止措置状況	競争入札参加停止等の措置を受けた者で、入札公告日時点で、競争入札参加停止期間満了日の翌日を起算日とする競争入札参加停止期間と同期間が係る場合に、評価点を減点する。 (JV案件:構成員の中に対象者が含まれる場合は、一律2点(E評価)の減点とする)

5. 中央市民センター大規模改修その他電気工事請負契約の締結について

1 契約概要

工事件名	中央市民センター大規模改修その他電気工事	
工事概要	<p>○既存棟の大規模改修工事及び増築工事に伴う電気設備工事を行うもの</p> <p>主な工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備の更新 ・発電設備の更新 ・電灯コンセント設備の更新 	摘要(別途工事)
		<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事 ・電気設備撤去工事 ・舞台照明・音響設備工事 ・監視カメラ設置工事 ・空調設備工事 ・衛生設備工事 ・自動制御設備工事 ・エレベーター設置工事 ・中央体育館受変電設備工事 ・ガス工事委託 ・屋上防水改修工事 ・植栽工事
工事場所	福岡市中央区赤坂二丁目5番8号	
工事期間	令和7年11月19日から令和9年3月15日まで	
入札方法	総合評価落札方式による制限付一般競争入札	
開札年月日	令和7年11月10日	
契約年月日	令和7年11月18日	
落札者	株式会社 秀電社	
契約価額	387,200,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 35,200,000円)	
予定価格	387,838,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 35,258,000円)	
失格基準価格	353,243,000円 (うち消費税及び地方消費税相当額 32,113,000円)	

【参考】入札参加者一覧

区分	名称	備考
地場	株式会社 秀電社	

2 入札結果

(1)技術評価点の内訳

評価項目			配点
提案項目	技術提案	項目1 電気設備の確実な切替について [工事特性] 本工事は、長期的に使用される市民センターの改修に伴う電気設備の更新工事である	10
		項目2 本工事に従事する労働者の安全対策について [工事特性] 本工事は、限られた作業スペース内での受変電盤等の重量物の搬出入作業と高所での機器取付作業等を伴う工事である	10
	小計 a		20.0
企業評価項目	企業の施工能力	工事成績の実績	4
		工事成績優良業者の表彰実績	1
		同種工事の施工実績	1
		品質管理への取り組み	1
	技術者の能力	資格の保有状況	1
		同種工事の施工経験	1
	社会貢献・地域貢献	社会貢献・政策貢献	2
		災害対策協力企業	2
		本店所在地	1
	社会性・信頼性の企業	競争入札参加停止措置状況	(-2) ※
小計 b			14.0
加算点 a+b			34.0
標準点 c			100
技術評価点A (a+b+c)			134.0

※配点欄の企業の信頼性・社会性(-2)は、企業評価項目の小計に含まない。

(2)入札価格

入札価格 B (単位:円) (消費税及び地方消費税相当額を除く価格)

(3)評価値

評価値 $A/B \times \alpha$ (α は数値調整のための係数)

(予定価格1億円以上10億円未満の場合、 $\alpha=100,000,000$)

(単位:点)

落札者		
名称	株式会社 秀電社	
区分	提案数	点数
A(2.0)	0	2.5
B(1.5)	1	
C(1.0)	1	
D(0.5)	0	
E(加算点なし)	3	
A(2.0)	1	5.5
B(1.5)	1	
C(1.0)	2	
D(0.5)	0	
E(加算点なし)	1	
8.000		
3.000		
加算点なし		
1.000		
1.000		
1.000		
1.000		
0.500		
加算点なし		
1.000		
減点なし		
8.500		
16.500		
100		
116.500		

352,000,000

33.0965

3 落札者の技術提案の概要

項目 1	電気設備の確実な切替について
	本工事は、長期的に使用される市民センターの改修工事であるため、ケーブル配線時の損傷・誤接続防止や接続した設備の確実な動作確認など、更新設備への確実な切替を実施することが重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。
項目 2	本工事に従事する労働者の安全対策について
	本工事は、限られたスペース内へ受変電盤等の重量物の搬出入作業や、高所での機器取付作業等があるため、重量物との接触・挟まれ防止や高所作業時における墜落・転落防止など労働者の安全対策が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。

(参考)評価項目の内容

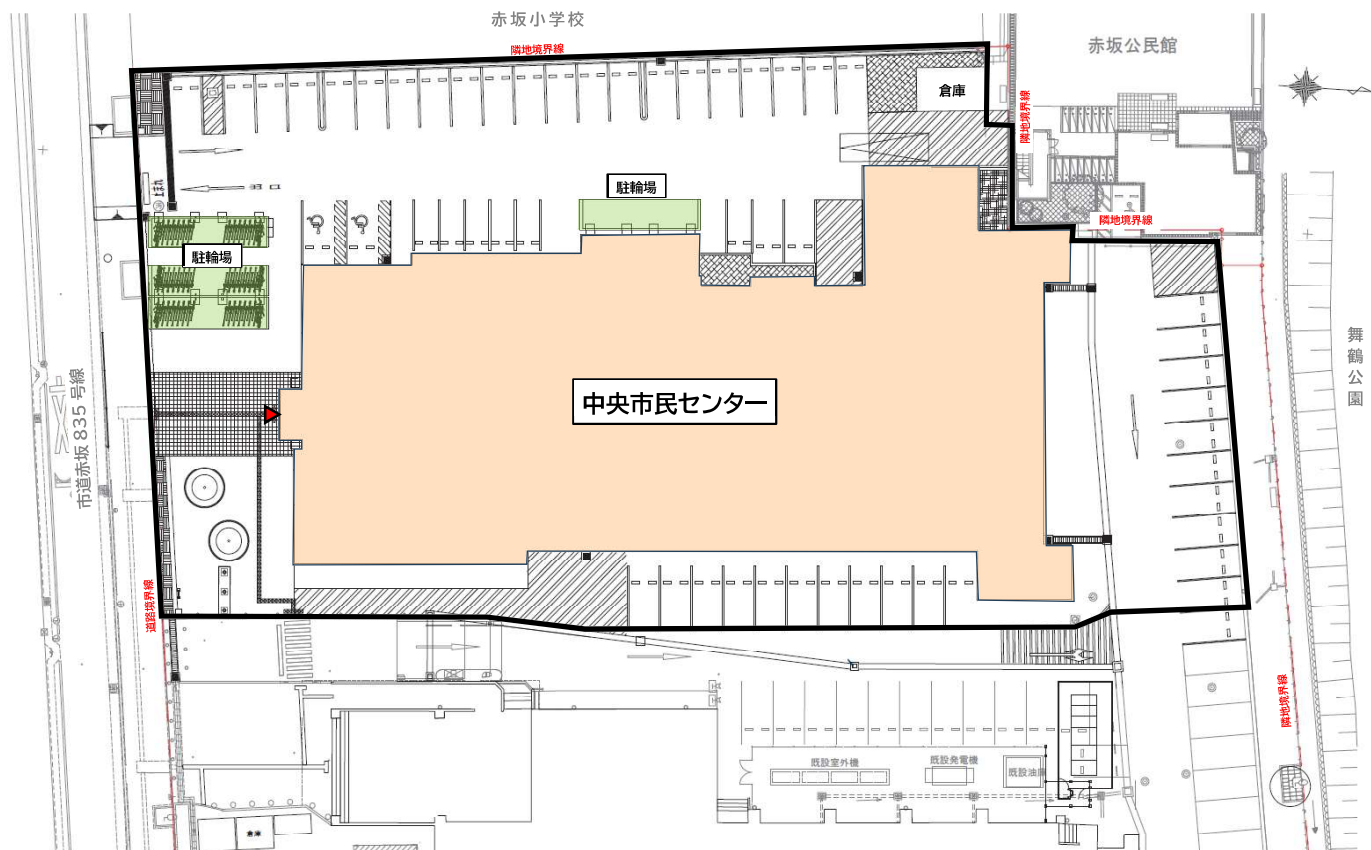
企業評価項目

評価項目		評価内容
企業 の 施 工 能 力	工事成績の実績	平成27年4月1日から令和7年9月10日までの間に、本市(水道局、交通局含む)又は福岡市施設整備公社(以下、「本市等」という)が評定通知した電気工事の任意3件の平均点によって評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	工事成績優良業者の表彰実績	令和5年9月11日から令和7年9月10日までの間に、本市等が電気工事において、工事成績優良業者として表彰を行う旨通知した工事の実績により評価する。ただし、表彰日の翌日から入札公告日前日までの間に競争入札参加停止の措置を受けた期間がある場合は、評価の対象としない。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	同種工事の施工実績	平成27年4月1日から令和7年9月10日までの間に竣工した建築附帯(住宅除く)電気工事の新築工事又は改修工事の施工実績により評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	品質管理への取り組み	入札公告日時点で、ISO9001の取得があれば優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
技 術 者 の 能 力	資格の保有状況	入札公告日時点で、入札者が提示する配置予定技術者の監理技術者資格者証の保有期間により評価する。
	同種工事の施工経験	入札者が提示する配置予定技術者に平成27年4月1日から令和7年9月10日までの間に竣工した建築附帯(住宅除く)電気工事の新築工事又は改修工事の施工経験(監理技術者、主任技術者、現場代理人での従事に限る)があれば優位に評価する。
社 会 地 域 貢 献 ・	社会貢献・政策貢献	入札公告日時点で、福岡市から「障がい者雇用促進事業」、「環境配慮型事業所支援事業」、「次世代育成・男女共同参画支援事業」、「協力雇用主支援事業」、「消防団協力事業所支援事業」、「ふくおか「働き方改革」推進企業認定事業」、「Well-being及びSDGs推進事業」、「地域活動貢献企業認定事業」の該当要件で認定を受けている企業を評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	災害対策協力企業	令和7年4月1日時点における福岡市と防災活動に関する協定を締結した団体に所属し、当該業種の特性を活かした防災活動を行う企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	本店所在地	入札公告日時点で、本市に本店が所在し、本市競争入札有資格者名簿に地場企業として登載された期間(地場としての継続期間)が長い企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
信 企 社 頼 業 会 性 の 性	競争入札参加停止措置状況	競争入札参加停止等の措置を受けた者で、入札公告日時点で、競争入札参加停止期間満了日の翌日を起算日とする競争入札参加停止期間と同期間が係る場合に、評価点を減点する。 (JV案件:構成員の中に対象者が含まれる場合は、一律2点(E評価)の減点とする)

○位置図



○施設配置図



6. 西体育館改修工事請負契約の締結について

1 契約概要

工事件名	西体育館改修工事	
工事概要	○西体育館の改修工事を行うもの	摘要(別途工事)
	主な改修内容 ・床、壁、天井の張替、壁の塗替工事 ・便所の改造工事 ・家具の取替工事 ・建具の取替工事	○屋上防水改良工事 ○内部体育施設工事 ○空調設備工事 ○衛生設備工事 ○電気工事 ○外壁改修工事
	工事場所	
工事期間	福岡市西区拾六町一丁目13-35	
入札方法	令和7年9月17日から令和8年8月18日まで	
開札年月日	総合評価落札方式による制限付一般競争入札	
契約年月日	令和 7年 9月5日	
落札者	令和 7年 9月16日	
契約価額	柿原・岩崎建設工事共同企業体	
予定価格	399,456,640円	(うち消費税及び地方消費税相当額 36,314,240円)
失格基準価格	434,192,000円	(うち消費税及び地方消費税相当額 39,472,000円)
	395,462,100円	(うち消費税及び地方消費税相当額 35,951,100円)

【参考】入札参加者一覧

区分	名称	備考
地場	柿原・岩崎建設工事共同企業体	
	アスミオ 株式会社	
	西鉄建設株式会社	

2 入札結果

(1)技術評価点の内訳

評価項目			配点
提案項目	技術提案	項目1 現場出入口部における第三者への安全対策について [工事特性] 本工事現場は、国道202号沿いに位置し、周辺には住宅や幼稚園、スポーツ施設があるなど、敷地北側道路においては日常的に歩行者や車の通行が多いため、現場出入口部における第三者への事故防止対策が重要である	10
		項目2 高所作業時における労働災害防止対策について [工事特性] 本工事は、建物内部の改修工事において棚足場上での高所作業が多くあるため、労働者の墜落防止や資機材の落下防止など、労働災害防止対策が重要である	10
	小計 a		20.0
企業評価項目	企業施工能力	工事成績の実績	4
		工事成績優良業者の表彰実績	1
		同種工事の施工実績	1
		建設業労働災害防止協会加入状況	1
	技術者の能力	資格の保有状況	1
		同種工事の施工経験	1
	社会地域貢献・	社会貢献・政策貢献	2
		災害対策協力企業	2
		本店所在地	1
	社会・信頼性の企業性	競争入札参加停止措置状況	(-2)※
小計 b		14	
加算点 a+b		34.0	
標準点 c		100	
技術評価点A (a+b+c)		134.0	

※配点欄の企業の信頼性・社会性(-2)は、企業評価項目の小計に含まない。

(2)入札価格

入札価格 B (単位:円) (消費税及び地方消費税相当額を除く価格)

(3)評価値

評価値 $A/B \times \alpha$ (α は数値調整のための係数) (予定価格1億円以上10億円未満の場合、 $\alpha=100,000,000$)
--

落札者			(単位:点)						
名称	柿原・岩崎 建設工事共同企業体		名称	アスミオ. 株式会社		名称	西鉄建設株式会社		
区分	提案数	点数	区分	提案数	点数	区分	提案数	点数	
A(2.0)	2	8.0	A(2.0)	0	5.5	A(2.0)	1	7.5	
B(1.5)	2		B(1.5)	3		B(1.5)	3		
C(1.0)	1		C(1.0)	1		C(1.0)	1		
D(0.5)	0		D(0.5)	0		D(0.5)	0		
E(加算点なし)	0		E(加算点なし)	1		E(加算点なし)	0		
A(2.0)	0	6.0	A(2.0)	0	5.0	A(2.0)	1	7.0	
B(1.5)	2		B(1.5)	2		B(1.5)	2		
C(1.0)	3		C(1.0)	2		C(1.0)	2		
D(0.5)	0		D(0.5)	0		D(0.5)	0		
E(加算点なし)	0		E(加算点なし)	1		E(加算点なし)	0		
14.0			10.5		14.5				
3.067			2.666		3.045				
1.000			1.000		1.000				
1.000			1.000		1.000				
1.000			1.000		1.000				
1.000			1.000		1.000				
1.000			1.000		1.000				
2.000			2.000		2.000				
1.500			1.500		2.000				
1.000			1.000		1.000				
減点なし			減点なし		減点なし				
12.567			12.166		13.045				
26.567			22.666		27.545				
100			100		100				
126.567			122.666		127.545				

363,142,400	359,511,000	382,000,000
-------------	-------------	-------------

34.8532	34.1202	33.3887
---------	---------	---------

3 落札者の技術提案の概要

項目1	現場出入口部における第三者への安全対策について 本工事現場は、国道沿いに位置し、日常的に歩行者や車の通行が多いため、現場出入口部における第三者への事故防止対策が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。
項目2	高所作業時における労働災害防止対策について 本工事は、建物内部の改修工事において棚足場上での高所作業が多くあるため、労働者の墜落防止や資機材の落下防止など、労働災害防止対策が重要であり、これらを踏まえた効果的な提案がなされた。

(参考)評価項目の内容

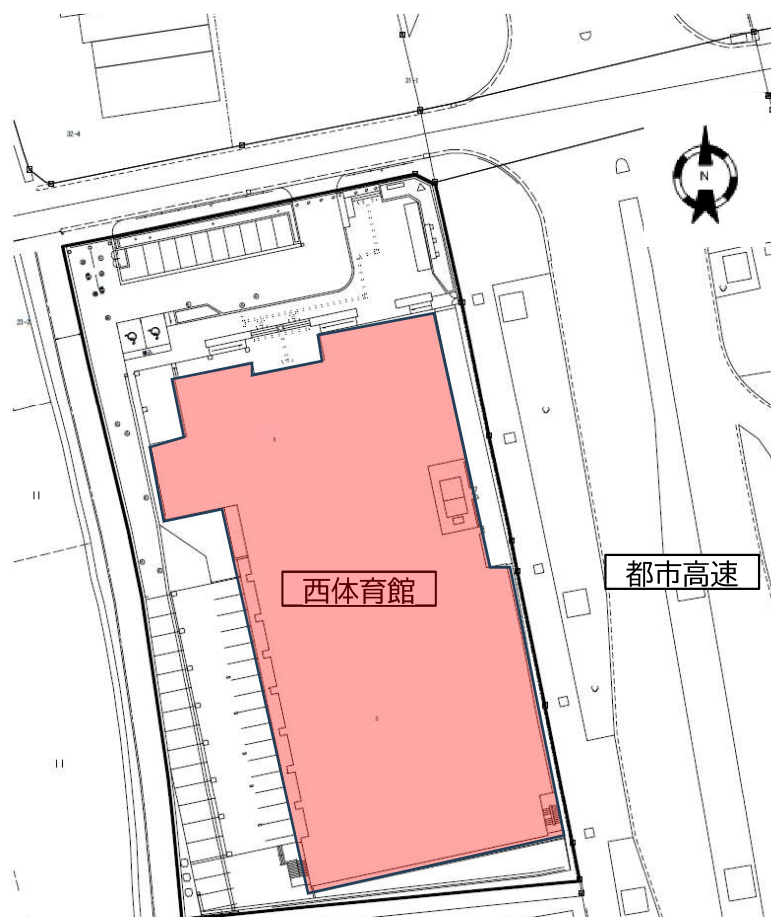
企業評価項目

評価項目		評価内容
企業の施工能力	工事成績の実績	平成27年4月1日から令和7年7月9日までの間に、本市(水道局、交通局含む)又は福岡市施設整備公社(以下、「本市等」という)が評定通知した建築工事の任意3件の平均点によって評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	工事成績優良業者の表彰実績	令和5年7月10日から令和7年7月9日までの間に、本市等が建築工事において、工事成績優良業者として表彰を行う旨通知した工事の実績により評価する。ただし、表彰日の翌日から入札公告日前日までの間に競争入札参加停止の措置を受けた期間がある場合は、評価の対象としない。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	同種工事の施工実績	平成27年4月1日から令和7年7月9日までの間に竣工したRC造またはSRC造の建築工事(外部のみの改修・改造を除く)の施工実績により評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	品質管理への取り組み／建設業労働災害防止協会加入状況	入札公告日時点で、ISO9001の取得があれば優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用) 令和7年4月1日から令和7年7月9日までの間に、建設業労働災害防止協会へ加入していれば優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
技術者の能力	資格の保有状況	入札公告日時点で、入札者が提示する配置予定技術者の監理技術者資格者証の保有期間により評価する。
	同種工事の施工経験	入札者が提示する配置予定技術者に平成27年4月1日から令和7年7月9日までの間に竣工したRC造またはSRC造の建築工事(外部のみの改修・改造を除く)の施工経験(監理技術者、主任技術者、現場代理人での従事に限る)があれば優位に評価する。
社会・地域貢献	社会貢献・政策貢献	入札公告日時点で、福岡市から「障がい者雇用促進事業」、「環境配慮型事業所支援事業」、「次世代育成・男女共同参画支援事業」、「協力雇用主支援事業」、「消防団協力事業所支援事業」、「ふくおか「働き方改革」推進企業認定事業」、「Well-being及びSDGs推進事業」、「地域活動貢献企業認定事業」の該当要件で認定を受けている企業を評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	災害対策協力企業	令和7年4月1日時点における福岡市と防災活動に関する協定を締結した団体に所属し、当該業種の特性を活かした防災活動を行う企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
	本店所在地	入札公告日時点で、本市に本店が所在し、本市競争入札有資格者名簿に地場企業として記載された期間(地場としての継続期間)が長い企業を優位に評価する。 (JV案件:構成員毎に評価点を算出し、その平均点を採用)
信企社業会性の性	競争入札参加停止措置状況	競争入札参加停止等の措置を受けた者で、入札公告日時点で、競争入札参加停止期間満了日の翌日を起算日とする競争入札参加停止期間と同期間が係る場合に、評価点を減点する。 (JV案件:構成員の中に対象者が含まれる場合は、一律2点(E評価)の減点とする)

○位置図



○施設配置図



7. 福岡市地域防災計画の修正について（案）

1 福岡市地域防災計画の修正の目的

「福岡市地域防災計画」は、災害対策基本法に基づき、災害予防、災害応急対策、災害復旧等に関する事項について定める計画であり、同法第42条第1項に基づき、毎年検討を加え、必要な修正を行うこととされている。

今回、関連法令の改正等を踏まえ、国の防災基本計画が修正されたことなどを受け、福岡市地域防災計画の内容の充実を図るもの。

2 主な修正内容

<法令の改正を踏まえた修正>

- 災害対策基本法等の改正
 - ・市から国に対する応急措置実施の要請
 - ・物資の備蓄状況の公表

<能登半島地震を踏まえた修正>

- 被災者支援の充実
 - ・避難生活における生活環境確保に係る取組の充実
- 防災DXの加速
 - ・新総合防災システム(SOBOWEB)や新物資システム(B-PLo)の活用及び研修・訓練の実施

<その他>

- ・時点修正及び文言の整理等

3 今後のスケジュール（予定）

- 令和8年3月 福岡市防災会議幹事会議での審議
- 4月 福岡市防災会議での審議（承認）
- 6月 福岡市地域防災計画の修正及び関係機関等への配付

福岡市地域防災計画の全面的な見直しについて

現在、福岡市地域防災計画の実効性を高めるための全面的な見直しを進めており、福岡県が10月に公表した地震に関する防災アセスメント調査の結果(補足資料)についても、新たな被害想定等を踏まえたハード・ソフト両面からの対策を検討の上で、全面的な見直しに併せて地域防災計画に反映していく予定である。

8. 福岡市男女共同参画基本計画（第5次）の策定について

「福岡市男女共同参画を推進する条例」(以下「条例」とする)に基づき策定する福岡市男女共同参画基本計画(第5次)(案)について、パブリック・コメント手続きに先立ち報告するもの。

I 福岡市男女共同参画基本計画(第5次)について

1 計画の位置づけ

条例第 11 条に規定する男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な計画を定めるもの。

2 計画の期間

令和 8 年度から令和 12 年度の 5 年間

II 計画策定にあたって

1 計画策定の経緯と目的

少子・高齢化のさらなる進行や世帯構成の変化、コロナ下において様々な問題を抱える女性が顕在化するなど、取り巻く環境が大きく変化した中、改めて、今後5年間に福岡市が市民とともに取り組むべき施策の方向と内容を明らかにする。

2 策定の背景

(1) 国際的な動き

- ・国連などの男女共同参画推進に関する取組み(SDGs 等)が進むとともに、各国で女性の進出がますます顕著になっている

(2) 国内の社会情勢の変化

- ・少子高齢化により労働力人口が減少する中、女性有業者数は過去最高を更新するも、一方で半数は非正規雇用となっている
- ・男性の家事育児時間は諸外国と比較し未だ低水準の中、「共働き・共育て」といったテーマへの注目が高まっている
- ・更年期症状など、女性特有の健康課題による経済損失は年間 3.4 兆円にものぼるとされており、健康課題に対する理解や特性に応じた支援が求められている
- ・職業観、家庭観が変化する中、家庭でも仕事でも希望に応じて活躍できる「令和モデル」への切り替えが求められている
- ・女性をめぐる課題が生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など複雑化、多様化、複合化。きめ細かで包括的な支援が求められている

(3) 国等の動き

- ・政治分野における男女共同参画の推進に関する法律、育児・介護休業法、DV 防止法、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(女性支援新法)」など、男女共同参画関連の法整備が進行

※国の第6次男女共同参画基本計画(令和7年 12 月閣議決定予定)に合わせて修正を予定

3 第4次基本計画の評価と今後の課題

(1) 主な取り組みと成果

- ・総合的な企画調整機能の強化:企画調整と事業実施の部門を集約して一体的に事業を実施し、つながりサポート事業の実施や地域活動ハンドブックの改訂等を実施
- ・配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護:自立生活援助事業の開始、児童虐待との連携強化
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進:男性の育休取得率の上昇、残業時間が縮減
- ・働く場での女性活躍の推進:健康課題と仕事の両立に取り組む企業を支援
- ・地域における男女共同参画意識の浸透:みんなにやさしい防災研修の開始

(2) 数値目標(成果指標)の達成状況

- ・男女共同参画に関する市民意識は男女ともに改善しており、女性は目標達成
- ・DVに関する認知度・理解度は、目標未達も概ね改善
- ・意思決定過程への女性の参画については目標達成
- ・民間企業関連指標は目標未達も女性管理職比率は上昇

(3) 今後の課題

①男女の固定的な役割分担意識の解消と意思決定過程への女性の参画促進

- ・男女共同参画意識はこれまでの取り組みにより改善傾向にあるが、年代や性別で意識の差が存在。各層に応じて身近で共感を得られるテーマを通じた働きかけなどの取り組みが必要
- ・意思決定過程への女性の参画では、市の審議会等委員や市職員の管理職比率に一定の進展あるも、一層の取り組みを要する。地域での諸団体の長への就任状況は引き続き低い水準にあり、リーダー育成などの取り組みを地域の自主性を尊重しながら進める必要がある

②ジェンダーに基づく暴力の根絶と被害者支援

- ・配偶者等からの暴力に係る相談窓口の認知度等が目標に達せず、相談への心理的ハードルも顕在化。被害深刻化の未然防止に向けた相談窓口の周知や若年層への啓発が課題
- ・DVに限らず、性犯罪・性暴力などのジェンダーに基づく暴力の根絶と予防に向けた教育・啓発や相談窓口の周知をさらに推進していく必要

③困難を抱える女性への支援

- ・令和6年4月施行の女性支援新法を踏まえ、支援を必要とする女性が抱える問題や背景、心身の状況等に応じたきめ細かで包括的な支援が必要

④ワーク・ライフ・バランスと女性活躍の推進

- ・ワーク・ライフ・バランスに関する環境整備や働き方改革、男性の育児休業取得は進展あるも、家事・育児・介護等の無償ケア労働は依然として女性に負担偏重
- ・職場での女性活躍が進む一方、賃金格差や管理職比率の差など、職場における男女間格差は解消に至らず、企業への啓発や支援が必要

Ⅲ 第5次基本計画の基本的考え方

1 福岡市が目指す姿

性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会

2 第5次基本計画の体系

現計画の評価と課題、社会経済情勢の変化などを踏まえ、重点施策を選定

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

- 男女平等教育の推進
- 男女共同参画にかかる啓発・学習の全市的展開【重点】
- 地域における男女共同参画意識の浸透と活動支援【重点】
- 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進【重点】
- 国際理解・交流の推進
- 生涯にわたる健康支援
- 性の多様性が尊重される環境づくり

※【重点】…

重点的に取り組む施策

基本目標2 あらゆる暴力が根絶された社会

- 配偶者等からの暴力被害者の支援及び暴力の未然防止【重点】
- セクシュアル・ハラスメント等及び性犯罪の防止

基本目標3 女性が安心して暮らせる社会 **新**

- 安心して相談できる体制の充実【重点】
- 安全確保への取組みの充実
- 回復と生活の安定に向けた切れ目のない支援の充実
- 多様な主体との連携による支援の推進【重点】
- 女性の支援につながる教育・啓発・人材育成の推進【重点】

基本目標4 仕事と生活の調和が実現した社会

- 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進【重点】
- 子育て・介護支援の充実

基本目標5 性別にかかわらず機会と待遇が均等に確保され、誰もが能力を発揮して活躍できる社会

- 働く場における女性活躍推進の支援【重点】
- 女性の就業・起業支援【重点】

基本目標6 あらゆる意思決定過程に男女が共に参画する多様性に富んだ社会

- 市の政策・方針決定過程への女性の参画促進【重点】
- 地域活動の方針決定過程への女性の参画促進【重点】

3 成果指標

基本目標ごとに、計画期間中に本市が達成すべき成果指標を設定する。

基本目標	成果指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	男女の固定的な役割分担意識の解消度 「男は仕事、女は家庭を守るべきである」という考え方に否定的な人の割合	77.1%	85%
2	配偶者等からの暴力について相談できる窓口の認知度 いずれかの相談窓口を知っている人の割合	79.0% (令和5年度)	90%
	中学生・高校生世代の「デートDV」についての認知度 デートDVについて「言葉を知っている」と回答した中学生・高校生世代の割合	中学生 46.2% 高校生世代 84.2% (令和5年度)	中学生 50% 高校生世代 90%
3	女性支援の機関・団体職員研修における理解度	-	100%
4	ワーク・ライフ・バランスを推進するための制度を導入している事業所の割合	79.1%	85%
	事業所における男性の育児休業取得率	48.7%	85%
5	事業所における女性管理職比率	13.3%	18%
6	福岡市の審議会等委員への女性の参画率	41.0% (令和7年8月1日)	40%以上 60%以下
	福岡市役所における女性管理職比率	20.3% (令和7年5月1日)	検討中

4 計画の推進

計画の推進にあたっては、庁内の推進組織である「福岡市男女共同参画推進協議会」を設置し、全庁一体となって取組みを進めるとともに、「福岡市男女共同参画審議会」に諮りながら進行管理を行う。

併せて、拠点施設「男女共同参画推進センター・アミカス」での諸事業や区役所における地域活動の支援を通じて、地域における男女共同参画の浸透を図るとともに、自治協議会やNPO、事業者等多様な主体との連携・共働を進め、基本計画を効果的に推進していく。

IV 今後のスケジュール

令和7年12月 パブリック・コメント手続を実施

令和8年3月 福岡市男女共同参画審議会の審議を経て策定